

令和 6 年大船渡市教育委員会第10回定例会会議録

1 日 時

令和 6 年10月23日（水） 午後 2 時から午後 4 時20分まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教 育 長 職 務 代 理 者	鈴 木 晴 紀
委 員	村 谷 志 保
委 員	清 水 恵 子
委 員	長 澤 敏 之

4 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	伊 藤 真紀子
学 校 教 育 課 長	佐 藤 和 生
生 涯 学 習 課 長	平 野 辰 雄

5 議 事

議案第 1 号 大船渡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

議案第 2 号 大船渡市立学校給食共同調理場の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則について

議案第 3 号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて

6 報告事項

（教育長）

①大船渡市教育委員会教育長職務代理者の指名について

（教育委員）

①岩手県市町村教育委員会協議会 令和 6 年度教育委員部会研修会について

（教育次長兼教育総務課長）

①令和 6 年大船渡市議会第 3 回定例会について

②学校統合協議の進捗状況について

③令和 6 年度大船渡市立博物館教育普及事業「教員のための博物館の日」の実施結果について

④令和 6 年度文化財講演会の開催結果について

⑤令和 6 年度「出張展示会 in 日頃市町 ～地域の歴史をみてみよう～」の開催について

⑥「さんりくジオパークかわらばん 2024 in けせん」作品展の実施について

（学校教育課長）

①気仙地区中学校新人大会の開催結果について

②第 4 回市内小・中学校長会議の内容について

(生涯学習課長)

- ①令和7年大船渡市二十歳のつどいの開催について
- ②令和6年度大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等の感謝状贈呈者の決定について

7 会議の概要

(教育長)

- ・令和6年大船渡市教育委員会第10回定例会の開会を宣言する。
- ・令和6年第9回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・口頭により報告する。

(教育委員)

- ・別添資料等により報告する。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・他に追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の統合について、順調に協議が進められているようだが、各中学校ではどのような交流が行われているのか。

(学校教育課長)

- ・両校の教職員が夏季休業中に集まり、来年度に向けた話し合いを行った。
- ・子どもたちは、これから中学校間での交流を5回程度計画している。

(教育委員)

- ・各校の学力は全国平均と比較してどれくらい違うのか。
- ・授業交流会等で授業見学をする際に、学校の成績向上や改善につながった工夫や取組を事前に教えてもらえると、授業を見るポイントがわかりやすくなる。

(学校教育課長)

- ・確かな学力プランに、学校が目指すところが明記されている。授業交流会がある綾里小学校と吉浜小学校の案内を送付する際に、確かな学力育成プランも同封する。

(教育長)

- ・以前は市指定の授業研究会をやらずに、日々の授業に力を入れる方針でいたが、学力の向上が見られないことから、授業交流会を実施することとなった。
- ・同じ教科に複数の教員がいる学校は、お互いに教え合うことができるが、小規模校だと難しい。研究会や講習会等により教職員の資質向上を図っていく必要があると感じている。

(教育委員)

- ・ウェブ会議を利用すれば、今まで東京に行かないと聞けなかった話を大船渡でも聞ける。

I C Tは、教える技術力を上げたいが家庭環境等で時間がとれない先生の研修にも有効である。

- ・実際の授業を見学したほうが得るものは大きいと思うが、I C Tを活用した教材があると若い先生を伸ばしやすいのではないかな。

(教育長)

- ・教職員向けの研修はすごく多く、様々な内容がある。何年間に1回は必ず受けなければならない研修もある。

(教育委員)

- ・様々なコンテンツであるのか。

(教育長)

- ・デジタルの専門家にウェブで指導していただいたりすることもある。その受講者が学校に戻ってから、他の先生方に教えている。

(教育委員)

- ・学力向上に結びつくところである。先生方の意識向上について検討するのが、市なのか県なのかはわからないが、必要だと思う。

(教育委員)

- ・校長会議資料のアンケート結果について、多くの教師が子どもの成長等により、やりがいを感じているが、一方で家庭や自分の時間が取れず、疲労感や焦燥感を感じており、切羽詰まったものもある。先生方の精神面のフォローはどのようになっているのか。
- ・市内小中学校の先生方のうち50代を占める割合が約50%と推察されるが、年齢層が高くて驚いた。

(学校教育課長)

- ・メンタルケアとしては、沿岸南部教育事務所において看護師が年に1回程度面談をし、市ではストレスチェック等を行っている。各学校でも、アクションプランに基づいて、定期的な面談等を通じて、職場内での状況確認や声掛け等を行っている。
- ・教職員の年代は、団塊世代が退職して20代30代の採用が増えてきている。30代後半から40代ぐらいが一番少ない。これは県の課題でもあると思っている。

(教育委員)

- ・国の施策と関連していると思うが、このまま50代が退職し、教員志望者が少ない状態では全国的に教員不足が進んでしまい、深刻な事態になるのではないかな。

(学校教育課長)

- ・定年を延長しているので、今は60代が9%程度だが、今後だんだん増えていくと思われる。
- ・今年度、インターンシップとして教員を志望している高校生を市内の小学校1校と中学校2校で受け入れている。教員の魅力をきちんと発信していきたい。

(教育委員)

- ・すぐに解決する問題ではないと思う。
- ・先生方は一生懸命で、一人一人に熱心に対応していると実感している。意欲や熱意がうまく回るようにならないかとも思っている。

(学校教育課長)

- ・教員の採用については市で対応できないが、I C T支援員や特別支援教育支援員を少しずつ増やしていくなど、可能な限り教職員の負担軽減を図っていきたい。
- ・特別支援教育支援員は子どもへの支援ではあるが、二次的に教職員の負担軽減を担っていると考えている。

(教育委員)

- ・アンケートに答えた年代の割合は、実際の年齢構成と同じか。

(学校教育課長)

- ・市内小中学校の教職員が 240 人前後、その内 200 名が回答しているため、実際の割合に近いと思う。

(教育委員)

- ・疲労感や焦燥感を感じる業務として、「会議・打合せ」の回答が多い。50 代という年齢に関係あるのか。

(学校教育課長)

- ・様々な会議があるため、関係してくるかもしれない。

(教育委員)

- ・ケース会議、いじめ対策会議、保護者対応の会議、いろいろな小さい単発の会議が次々にあり、生徒指導主任とか、役職のある先生たちは呼ばれる回数が増える。
- ・校内研究などもあるが、回数を重ねるごとに実力も意識も高まっていくと思う。
- ・先生方の意識を高めるためには、まずは楽しく働ける環境づくりも大事だと思う。
- ・「教員のための博物館の日」が、理想の形になってきたと思う。
- ・三陸ジオパークの推進協議会がすごく機能し始めてきた。文化財講演会や釣針づくり・釣り体験会など、活動の機会が増えている。今後も学芸員の皆様には頑張ってもらいたい。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・子ども向けの体験講座を開催すると、保護者も一緒に参加するため、博物館の利用者や理解者が増えた。
- ・昨年度の化石発掘体験は非常に人気があったが、当市の博物館は総合博物館であり、化石発掘だけに特化できないことから、今年は昆虫観察会を実施した。今後も人気のある化石発掘を行いつつ、ニーズに合わせて、少しずつ様々なことを企画していきたい。

(教育委員)

- ・イベントを増やすと学芸員の負担も大きくなるので大変だと思うが、それでも広報の機会がたくさんあるといいと思う。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・私も教育委員会に異動してから、大船渡市には自分が知らなかった貴重な資源がたくさんあることに気づいたので、広く知ってもらうことも必要だと思っている。
- ・あまり範囲を広げすぎると、ニーズと合わなくなる可能性もあるので、工夫して周知していきたい。

(教育長)

- ・博物館が基石海岸にあるので、夏に実施する事業が多い。昔は地質観察会や生物観察会を毎年開催していたが、業務が過重になったことから 3 年ごとのサイクルにした。
- ・学芸員が増えれば、縄文土器製作会とかを毎年やりたい。

(教育長職務代理者)

- ・学校給食費無償化を実施するためには、恒常的な財源を確保する必要があり、食材費は学校給食法により保護者負担と規定されているため、現時点で無償化の実施は考えていないとされている。この答弁は、財政状況を考慮すると妥当であると感じた。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・市長は、子どもや子育て支援に重点をおいているが、今は保育料の無償化等に取り組んでいるところである。
- ・市の財政には限りがあり、全ての支援を実施するのは難しい。ふるさと納税の獲得に努

めているが、現時点では給食費の完全無償化には至っていないのが実情である。

- ・経済的に厳しい家庭には支援を行っていることから、当面はこのままでいきたい。

(教育長)

- ・「二十歳のつどい」は、協働まちづくり部の生涯学習課が担当となっている。
- ・今年は306人が対象となる。去年の出生数が125人しかいないので、20年後には125人になる。

(教育長)

- ・その他、質問、意見、追加報告がないことを確認し、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第1号について説明を求める。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・議案第1号 大船渡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。
- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案とおり可決する。

(教育長)

- ・日程第3、議案第2号について説明を求める。

(学校教育課長)

- ・議案第2号 大船渡市立学校給食共同調理場の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則について、説明する。

(教育長)

- ・議案第2号について、質問、意見を求める。
- ・質問、意見がないことを確認後、議案第2号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第2号を原案とおり可決する。

(教育長)

- ・日程第4、議案第3号について説明を求める。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・議案第3号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第3号について、質問、意見を求める。

(教育委員)

- ・博物館は収蔵庫が足りない。閉校した中学校など、空いている施設を有効活用したい。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・吉浜倉庫の建物は既に取り壊してしまった。以前、埋蔵文化財の整理室として使っていたが、老朽化により整理室を綾里倉庫に移転した経緯もある。その綾里倉庫も耐震に問題があるため、旧綾里中学校への移転について協議しているところだ。
- ・博物館は近くて空調設備がある末崎中学校が使えると考えている。
- ・空き校舎の利活用については、担当課が市民協働課であるため、庁内で協議していきたい。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第3号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第3号を原案とおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和6年大船渡市教育委員会第10回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小 松 伸 也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員